



農産物調査ノ件

祕

添田

1893





古来農業ヲ以テ國本トセルニモ拘ハラヌ面積  
 業專務ノ國タルヲ許サス之ニ及シテ石炭ニ富ミ勞  
 カノ供給裕カナル等ハ以テ工業國タルニ適シ四回環  
 海ノ地形ト米清濠ノ中央ニ立テル地位トハ商業國  
 タルニ適セシムル所以ニシテ將來立脚ノ基礎ハ盛  
 ニ各種ノ原料ヲ輸入シ之ニ製作ヲ加ヘテ輸出シ若  
 クハ各國ノ貨物ヲ轉賣運搬スルニトニ置カサルハ  
 カラス苟モ方針ヲ之ニ決定スル以上ハ原料ノ輸入  
 ト製品ノ輸出トヲ自由ニシ製作品ニ改良精換ヲ加  
 ヘ港灣ヲ備築シ航海ヲ奨励スル等ノ必要ナルハ  
 勿論製作ノ原動力タル石炭ノ如キハ之カ濫出ヲ豫

大正十一年四月  
 隈侯爵邸藏

防シ水力利用ノ途ヲ開キ勞力就中精巧熟練ナル  
者ノ海外移住ヲ避ケ他日ノ悔ヲ遺サ、ランコトヲ勉  
メサルヘカラス殊ニ石炭ノ如ク人爲ヲ以テ再製シ難キ  
モノニ在テハ最モ深ク注意ヲ施サシハアラス  
更ニ極言セハ成ルヘク生糸ノ如キ粗製品ノ輸出ヲ抑  
制シテ羽ニ重絹手巾其他ノ織物ニ製成シタル上ニ  
テ輸出スルヲ得策ナリト云ハサルヘカラス是レ運搬費  
及ヒ生産所得上未製ノ俦ニテ輸出スルニ比スレハ  
我ヲ益スルコト遙ニ大ナレハナリ果シテ然ラハ今日注  
系ノ如キ粗製品ノ輸出ヲ断然禁止セシカ之未タ其  
可ナルヲ見ス其理由ハ本邦ト各市場トノ聯絡疎通ノ  
途未タ完カラサルヲ以テ時好流行ヲ追フコト能ハサ  
ルカ爲メ失敗ニ終ルノ憂アルノミナラス製作機關ノ

具備スルニ至ルマテニハ更ニ幾多ノ歲月ヲ要ス然ルニ  
粗製ノ俦ニテ輸出スルコトヲ禁止セハ其間本邦ノ輸出  
カヲ殺減スルコト實ニ甚シカルヘキニ在リ  
故ニ將來ノ方針ハ成ルヘク精製ノ上ニテ輸出スルコト  
ト爲シナカラ傍ヲ未製ニテモ輸出スルコトヲ得セシムルハ  
目下ノ状況止ムヲ得サルニ出ツ換言スレハ工業商業機  
関ノ發達完備スルニ至ルマテハ幾分カ農産物輸出国  
タルノ地位ヲ以テ甘セサルヲ得ス然リ而シテ均シク農  
産物ヲ輸出スト爲スモ尚ホ茲ニ大ニ注意ヲ要スルモノ  
アリ何ソヤ曰ク  
第一、需要ノ異動少ナキモノヲ産出スルコト  
第二、豊凶ノ変其他ノ天災ニ遭遇スルコト少ナキモノヲ  
生産スルコト

第三、四季交ル交ル收穫シ得ラル、モノヲ輸出シ輸出

ヲシテ間断ナカラシムルコト

前掲第一ノ目的ニ適合セルモノハ茶、砂糖、烟草、綿花、麻、藍、樟腦等ニシテ幸ニモ彼ノ臺灣島ヲ併セタル以上此等ノ産出ニハ便宜極メテ大ナルコトヲ得ルニ至レリ又内地生綿ノ如ク地方上若クハ他國トノ競争上到底見込ナキモノ、耕作ハ之ヲ廢止シ見込アルモノニ全カヲ注クルノ必要ナルハ勿論例ハ生糸ノ如キモ南方即チ霜害ヲ受クルコト少ナキ地方ノ産出ヲ増加セハ以テ第二ノ目的ヲ達スルニ足ルヘシ而シテ方今本邦ノ版圖ハ極北千島ヨリ南端臺灣ニ渉ルヲ以テ寒暑ノ氣候ニ發生スル物産ヲ耕作シ得ヘク第三ノ目的モ亦決シテ遂ケ難キニ非ス仍テ目下各種ノ農

(2)

産物ヲ調査シ之ニ取捨精換ヲ加ヘ配当宜シキヲ得セシメ紙然タル高工業國タルノ程度ニ達スルマテハ之カ生産ニ向テ必要ノ注意ヲ加フルハ甚ク緊要ナリト認ム

